主題構成表

主題名　学校のよさ　　（三枝小学校５学年）　　資料名「アジア・パーティー」

■内容項目　４－（６）
　先生や学校の人々への敬愛を深め、みんなで協力し合いよりよい校風を作る。

■資料の分析
・五年生中心に会の準備を進める責任の大きさを感じながらも、全校みんなで会を成功させようと６年生のアドバイスを受けながら意欲的に取り組む気持ちの高まりを自分の体験との関わりにおいて気付き、共感することが出来る。
・パーティーを全校のみんなで協力して作り上げたことに達成感を感じ、学校の一員として自覚を高めていく主人公の心情に共感することが出来る。
・６年生に「がんばってね。」と言われたときの気持ちを考えることを通して、学校に残る伝統を自分たちも守り、さらにいい物にしていこうという気持ちの高まりを味わうことが出来る。

■児童の実態
・委員会活動や縦割り掃除などで、高学年としての役割を果たそうとする意欲が少しずつ出始めている。
・６年生がやってくれるという意識がまだ強く、三枝小のよき伝統を自分たちの力でさらによくしていこうという積極的な態度が弱い。

■意識の要因
・三枝小の自慢できる伝統が、今までの先輩たちが作り出し、それが長年受け継がれてきたものであり、さらによりよく発展させていくことが大切であることにまだ気付いていない。

■価値の分析
・児童は高学年となり、こうした温かい人間味ある触れ合いの中で、「学校の一員としての役割の自覚」をし、自分の学校の校風や伝統を理解し、自分たちもこれを受け継いでよりよい物を作っていこうとする態度が生まれてくる。
・先輩の足跡を肌で感じ、高学年としての自覚を持って、積極的によき校風を作ろうとする態度の育成を図ることを大切したい。また、校風をただ継承するだけでなく、そこから自分たちが何を学び、想像していくのかを考えさせることが愛校心を育む上で重要なこととして位置づけたい。

■ねらい　「アジア・パーティー」をみんなで作り上げようとした主人公の気持ちに気付き、パーティーが成功した時の気持ちの高まりを考えることを通して、みんなで協力して伝統や校風を受け継いでいこうとする態度を育てる。

■展開の構想
・５年生中心にパーティーを進めるためにがんばる主人公の気持ちに共感させ、全校みんなでパーティーを成功させようとしている主人公の姿に気付く。
・自分の学校の特徴的な行事を成功させたことに喜びを感じ、学校の一員として自覚を高める主人公の心情に共感させる。
・６年生の言葉を聞いて、伝統を受け継ぎ、発展させていこうとする主人公の気持ちに気付かせる。
・三枝小学校の一員として、学校の伝統をや校風を守り、受け継いでいくために自分が今までがんばってきたことをふり返り、今後、自分たち５年生が新たに作っていく意欲をもたせる。

■基本発問（◎中心発問）
○「５年生中心にやってもらいます」と言われ、パーティーの準備を進める彩香はどんな気持ちだったでしょう。

◎パーティーが成功して、「よかったね、楽しかったね。」というみんなの声があちこちから聞こえたとき、彩香はどんな気持ちになったでしょう。

○６年生に「がんばってね」と言われたとき、彩香はどんな気持ちになったでしょう。

○あなたも彩香のように三枝小の伝統的な物を続けていこうと思ってがんばっていることやがんばりたいことを書いてみましょう。